保安専門技術者養成講習計画（シラバス）

【講習科目】	ＬＰガス災害対策
【担当講師】８名＋１名（事務局）	（参照：保安専門技術者養成講習講師一覧）
【開講時期】	１月から２月
【時限】５時間（300 分）以上	①事前学習及び事前学習ワークブックの作成・提出 ②オンライン講義［５時間(300 分)］ ③修了ワークブック（指導方法）等の作成・提出 【合計５時間（300 分）以上】

【講習の目的】

・地域の保安リーダーに足りる十分な知識を有し、地域指導事業等の講師としての指導力を養成する。

・自然災害の脅威を認識し、平常時の対策の実践と、被災後の対策を指導・主導し得るものを養成する。

【講習のポイント】

東日本大震災を受けて作成した「ＬＰガス災害対策マニュアル」を最近の災害状況を踏まえ改訂した最新版の「第３次改訂版」をテキストに用いつつ、災害時における防災行動計画（タイムライン）についても学習を行い、実際に訓練を行うことで、災害時における予見可能性を向上させ、実際の行動に結びつけるようことができるような保安専門技術者を養成する。

【カリキュラム】

別紙（カリキュラム）参照

【事前学習の学習内容】

・ＬＰガス災害対策マニュアルの学習。

・指示した災害情報に対しての防災行動計画（タイムライン）の検討。

【オンライン講義の内容】［５時間（300 分）］

・テキスト、動画、パワーポイント、ハザードマップ等を用い、過去の災害や現在の災害の傾向、ＬＰガス設備の災害対策等について解説、質疑応答を行う。

・災害時を想定した防災行動計画（タイムライン）訓練を行い、課題、対応等のフリーディスカッションを行う。

【修了レポート等の作成・提出】［0.５時間（30 分）］

・オンライン講義終了後、修了ワークブック（指導方法）、アンケートを提出。

【履修目標】

①　近年の自然災害及びＬＰガスにおける災害対策に関して知見を有していること。

②　地域の保安リーダーとして、事業者及び地域におけるＬＰガス災害対策を促進するために、自地域における防災行動計画（タイムライン）を立案でき、被災前、被災後の自身の行動を想定できる能力を有すること。

【到達目標】

①について

・近年の自然災害の特徴や地域の災害リスクを把握し、最新のＬＰガス災害対策や自身の立場に応じた平時及び被災時の役割について理解すること。

②について

・防災行動計画（タイムライン）立案でき、それに基づき現場のリーダーとしての役割を果たすことができること。

【実施方法】

【実施１】保安専門技術者養成講習（オンライン講義）の講義及び説明評価

オンライン講義では、近年の災害の特徴や最新のＬＰガス災害対策について習得し、ＬＰガス災害対策に関する知見の強化を図る。また、タイムライン訓練を通じて、自身の考えを論理的に他者へ説明できるか確認し、講師及び周りの受講生からの評価を受けることで指導者としての説明能力の向上を図る。

【実施２】保安専門技術者養成講習（オンライン講義後）の修了ワークブック（指導方法）

修了ワークブック（指導方法）では、オンライン講義で得た知見を活かし、指定した災害における防災行動計画（タイムライン）の立案を行い、被災前、被災後の自身の行動を想定ができているか確認・評価する。

【評価の基準】

本事業では、受講生の a)知見 b)説明力の２点について評価する。具体的には以下の点について、次表により評価する。

a)知見
- イ）過去の災害の傾向を理解し、災害によるLPガス設備等の被害について説明出来る知見を有する。
- ロ）災害に応じた適切な対応を立案できる知見を有する。
- ハ）参考資料や見聞した情報について独自に収集できている。

b)説明力
- イ）自らの考えを論理的に他者へ説明できる。
- ロ）他者からの質問に対し適切に受け答えできる。
- ハ）説明内容に誤認はないか。また誤認があった場合、それを適切に訂正し説明できる。

判定	知見	説明力
A	大変よく理解されている。	大変適切かつ柔軟に説明ができている。
B	よく理解されている。	適切かつ柔軟に説明ができている。
C	理解されている。	適切に説明ができている。
D	部分的に理解されている。	部分的に説明ができている。
E	理解されていない。	説明できていない。
合格基準	カリキュラムに記載の学習到達事項について、全て「C」以上であること。	

【授業の方法】オンライン講義

オンライン講義【ＴＶ会議システム等を用いたオンラインによる授業】
- ・少人数を対象とする意見発表、討議等を交えた講習
- ・意見発表等により、保安担当者との情報共有等によって、保安リーダーとしての意識向上、自社における水平展開等を図る。

【テキスト】

番号	名　称　等	編集・発行	備　考
1	ＬＰガス災害対策マニュアル（第３次改訂版） https://www.lpgpro.go.jp/guest/text1/pdf/R02_2020/2020_7_s.pdf	高圧ガス保安協会	※
2	LPガス事業者における災害時におけるタイムライン訓練参考資料	高圧ガス保安協会	※

※	Ｗｅｂサイトに掲載された電子データを閲覧。必要に応じて、受講者が適宜ダウンロードし、プリントアウト。
【履修条件】	
１）地域の保安リーダーに足りる十分な経験、知見等を有していること。 ２）都道府県ＬＰガス協会又はＬＰガス関係団体の推薦を受けること。 3）講習修了者は、所属する都道府県ＬＰガス協会より地域保安指導事業等における講習講義依頼があった場合には、講師をすること。	
【講習の修了条件等】	
１）オンライン講義でのワークブックを提出し、一定以上の評価を受けた場合に限り、本講習を修了したものとし、保安専門技術者証を交付する。	
【受講者への注意事項等】	
１）オンライン講義を受講するにあたっては、インターネット環境に接続できるパソコン、当該パソコンに接続できるマイク、カメラを用意すること。 ２）本講習の詳細は、受講申込後に配付される受講案内に記載する。	
【参照ホームページ】	
ＬＰガス保安技術者向けＷｅｂサイト（https://www.lpgpro.go.jp/）	